

「城ヶ島は、自然・地層観察の宝庫」

概要： 城ヶ島西部を歩き、生き物の生態や植生、地層の様子などを観察する

小学校教員



実施内容

1. **実施校** 市内小学校教員希望者
2. **目的** 城ヶ島の自然を観察し、これからの海洋教育の実践に役立つ
3. **内容** 南下浦小学校の辻先生に講師をお願いし、城ヶ島西部3時間のコースを歩く
4. **日時** 平成28年 7月27日(土) 9:00~12:00
5. **場所** 城ヶ島西部
6. **参加者** 小学校教員、教育委員会指導主事、研究所職員
7. **指導者** 南下浦小学校 辻 功 教諭
9. **持ち物** カメラ、帽子

当日の様子

- 城ヶ島の大地は、クマゼミにとって好適地で、当日も多く鳴いていた。しかし、近年、適地が減ってきて、クマゼミも減少しているとのことだった。
- 馬の背洞門では、苔を食べて生息するハマカクシやハマダンゴムシを専用ルーペで観察した。
- 長津呂付近には、断層の割れ目に落ちた雨水でできた、淡水の水たまりが10以上あり、そこでハイイロゲンゴロウ、コマツムシ、コミズムシ等を観察した。
- 三郎山付近では、断層やスランプ構造などが観察できた。